

第三節 分娩直後の異常出血

原因

此原因の一、二、三は第三期の出血と殆ど同じと記憶すればよい、只後産期には胎盤がないから、胎盤の癒着又は子宮内口部癒着による出血がない丈けである。そして子宮弛緩の原因も後産期と同様に第一期第二期並に第三期より引續き来るものが多い。然し時には分娩が終つてから始めて弛緩するものが無いでもないから、胎盤娩出後少くも二時間位はいつも子宮収縮に注意せねばならない。

症候—診断

- 一、子宮弛緩もなく翻轉もなくして出血したならば、軟部産道からの出血と見てよい。而も外陰部に大した損傷がないならば、子宮頸管又は腔壁からの出血と診てよい。(第二節参照)
- 二、子宮弛緩によつて起る出血は、後産が自然に娩出した後でも、或はクレーデ氏法によつて壓出されたあとでも、其状態は同じである。内出血の時には子宮腔内及び腔腔内が凝血及び液性の血液で充たされて居るのである。

處置

分娩直後の出血も、後産期に於けると同様に、先づ出血の原因と出血の部位とをよく明かにして後に處置しなければならぬ。

- 一、軟部産道の損傷からの出血の中で、外陰部の損傷ならば之に壓迫を加へ、内部よりの出血ならば熱性洗滌又は腔填塞を施さねばならない。
- 二、子宮弛緩に對する處置は後産期に於けるものと對照して見るがよい。只胎盤壓出法が無いのである。

書取

「ほんてん」「けんいん」「うながす」「にくくわい」「ふくなふ」

類字

翻轉—翻轉。牽引、索狀。促す、捉へる。

試験問題

◎子宮翻轉症ノ意義ヲ説明セヨ

(北海道、昭和二、五)

◎子宮翻轉ニ就テ知ル所ヲ記セ

(新潟、大正十、四)

第三編 母體の異常

- ◎子宮轉トハ如何及其原因 (東京、大正三、四)
- ◎子宮内腫ノ原因 (山梨、大正十三、四)
- ◎子宮内腫症ノ原因及症狀ヲ記セ (佐賀、昭和二、十)
- ◎子宮轉ノ原因及處置 (埼玉、大正五、十)
- ◎同上 (神奈川、大正七、十)
- ◎同上 (鹿兒島、大正十五、十)
- ◎後産期及其直後ニ於ケル出血ノ原因及其處置ヲ述ベヨ (大阪、大正十四、十)
- ◎後出血ノ原因及處置 (岩手、大正七、四)
- ◎分娩直後異常出血ノ原因及處置 (大阪、大正三、十一)
- ◎同上 (香川、大正十一、四)
- ◎同上 (東京、大正十一、十)
- ◎同上 (長野、大正十四、四)
- ◎同上 (東京、大正十五、四)
- ◎同上 (大分、昭和二、五)
- ◎分娩直後ノ出血及處置 (東京、大正五、十)
- ◎分娩直後ノ大出血及處置 (高田、大正十四、四)
- ◎分娩後子宮收縮良好ナルニ拘ラズ多量ノ出血ヲ見ルコトアルハ如何ナル原因ニヨルカ (大阪、大正十四、四)
- ◎分娩直後最モ褥婦ヲ危険ナラシムルモノハ何カ、此際産婆ノナスベキ處置如何 (大阪、大正十五、四)
- ◎後産期出血及後出血ノ處置如何 (大阪、大正十一、十)
- ◎胎兒高度ノ假死ニテ生レ續イテ母體ニ高度ノ出血起ル場合産婆ノ取ルベキ處置如何 (大阪、昭和二、十)



- ◎妊娠分娩及分娩直後ニ於ケル異常出血 (山梨、大正十、四)
- ◎分娩第三期及其直後ニ於ケル異常出血 (神奈川、大正十四、十)
- ◎分娩直後ニ來ル異常出血ノ原因及徵候ヲ詳記セヨ (和歌山、昭和二、四)
- ◎分娩直後出血ノ種類及其鑑別法 (大阪、大正六、四)
- ◎分娩第三期及分娩直後ニ於ケル出血ガ子宮腔内ヨリ出ヅルヤ或ハ其他ノ産道ノ損傷ヨリ來ルヤヲ鑑定スル方法及其際ニ於ケル産婆ノ處置 (千葉、大正十、四)
- ◎分娩直後ノ出血ノ徵候及處置 (愛媛、大正十、四)
- ◎褥婦ノ弛緩性(無力性)出血ノ症狀及其ノ處置ヲ記セ (栃木、大正十二、十)

講義

第四章 急性貧血

原因

今こゝには大出血の結果起るものを述べやう、精神感動によつて神経的に腦貧血の症狀を呈する事もあるが其れは別とする。

第四章 急性貧血

月 日 (曜日)

(教科書第六卷一八〇—一八六)

明治天皇御製
 歲月は射る矢のごとしものはみな
 すみやかにこそなすべかりけれ

出血の原因は、妊娠中の出血(教五、五三頁)及び分娩中の出血(教六、一五〇頁)に於て述べた通りであるが、其中で妊娠中の月経様出血とか分娩中産道の小さい傷からの出血等は、出血量も至つて少いから、急性貧血の症状を呈する程の事は無いが、其他の出血で其分量が多い時、例へば五〇〇瓦以上一〇〇〇瓦に近い時は、急性貧血の症状を起すのである。尤も之は出血の分量のみで云ふ譯にはゆかない、其婦人の體質や血液の多少にも關係があるのである。例へば健康な多血性の婦人では五、六百瓦位の出血では、格別著しい症候も來さないが、元來が虚弱で貧血性の婦人であると、既に五、六百瓦位の出血でも、健康婦人の千瓦位の出血に於けるが如き症状を起す事がある。

急性貧血の原因と云ふ問題に對しては簡單に『大出血』とのみ答へないで更に大出血の原因をも列擧するがよからう。例へば葡萄状鬼胎、子宮外妊娠の中絶、前置胎盤、常位胎盤早期剝離、子宮破裂、弛緩性出血等が主なものである。

症候

【眼花閃發】眼の前で火花の様な光が「キラ／＼」と光る様に感ずること。【視力減退】眼がよく見えなくなる事で、甚しいと眼は開いても暗黒に見え、只電氣の光等が御光を射した様に見える位のも

のである。【耳鳴】耳が「ザ／＼」鳴る事。【重聽】よく聞えなくなる事。【欠伸】あくび。【口渴】口の渴くこと。【胸内苦悶】胸苦しき事。【呼吸促進】いさせはしい事。【轉輾】ねがへり、ころげる輾轉とも記す。

先づ顔面について考へ、其蒼白で口唇と眼の蒼白を思ひ出し、其眼については眩暈、眼花閃發、視力減退を考へるがよい。眼の次には耳を思ひ出すがよい。耳の次には口で、欠伸と惡心・嘔吐・口渴を思ひ出すがよい。口の次にはそれより下つて胸を思ひ出すがよい胸で呼吸器と心臓を思ひ出し、心臓の搏動で脈搏を思ひ出し、脈搏は手で診るのであるから、それで手足の厥冷を思ひ出し、厥冷の冷で冷汗を思ひ浮べ、最後に全身の状態として人事不省等を思ひ出すとよい。

出血の甚しい時には、顔貌はきつい顔をして、眼窩が窪み、鼻が尖つた様に見える。

處置

一、止血の處置

貧血其者に對する處置も必要だが、先づ其原因たる出血から止めなければならぬ。例へば水道の鉛管が破裂して床が水だらけになつた時に、床の水を拭くのも必要だが、それよりも先づ水の出るのを

止めなければならぬと同様である。

止血の處置は前置胎盤、常位胎盤早期剝離、軟部産道損傷、弛緩性出血等の各出血の條下で述べた處置を参照する必要がある。

△子宮底が高く子宮が柔軟であつたならば、先づ弛緩性出血と考へ、其收縮を促す爲に、子宮底の摩擦氷電法貼用、クレード氏胎盤壓出法等を適宜に行はなければならぬ。

△若し子宮の收縮がよいならば、先づ外陰部を調べて清潔な「ガーゼ」等で傷を壓迫して置くのである。

△子宮の收縮もよし外陰部にも大した傷もなく、腔内より多量の出血があるならば、子宮頸管若くは腔穹隆部等からの出血と認めて、先づ熱法腔洗滌を行ひ、其後腔の堅實填塞を施すがよい。洗滌の暇のない時は直ぐに填塞を行つてもよい。又熱性洗滌の代りに冷性洗滌でも止血する事があるがこれは虚脱に陥つて居る人に對しては危険である。

▲腔堅實填塞法を禁すべき場合と、行ふべき場合

(一) 子宮弛緩の時に、子宮收縮を促さないで、いきなり填塞を行ふのは誤である。

(二) 常位胎盤早期剝離に際して、内出血の著明な時にも填塞をしないがよい、填塞の爲に却て内出血を強める事がある。

(三) 流産て未だ出血の少ない内に、堅實填塞を行ふと、防止し得べき管のものをも進んで流産にして仕舞ふ事がある。

(四) 其他總て少量出血の時は、填塞の必要がないのである。
△以上の他の場合で多量の外出血がある時には填塞してよいと思ふて差支ない。

二、貧血に對する處置

(一) 驅血法

腦と心臓とは最も大切な場所であるから、取敢ず必要の少い手足の血液をそこに集めて、一時の間に合せをする法である。頭を低くするには枕を外すのである。只頭を低くし手足を高くしたのみで間に合はないと思ふたら、驅血帶を用ゆるがよろしい。驅血帶とは靴下止めの「ゴム」入の平紐の様なので、伊達巻位に大きくて長いものである、若し其持合せがない時は「フランネル」縋帶か又は只の縋帶で代用してもよい。

(二) 液體の供給

身體の血液が大量を失ふと、血球の量が少くなるから、血液の働きが不足となる事は勿論であるけれども、それよりも血液の分量が不足の爲に心臓が働けないのが困るのである。謂はゞ「ポンプ」の中に水が少い爲めに「ポンプ」が働く事が出来ないと同じ事である。そこで血液の代りに一時間に合せに生理的食鹽水を血管の中へ注入すると、此心臓の空廻りが止んで、差當り急場の危険を救ふ事が出来るのである。即ち其間に血液も追々と製造されて来て危険の状態から逃れる事が出来るのである。生理的食鹽水と云ふのは〇、八五%の食鹽水であつて、組織の中へ入れても全く無害な濃度である。醫師ならば此生理的食鹽水を殺菌して適當の温度にして靜脈内に注射したり、又は皮下に注射したりするのであるが、産婆は自ら之を行ふ事が出来ないから、口又は肛門から消化管内へ注入するのである。其飲用の食鹽水の温度は、冷温何れでも患者の好みに任せるがよいが、直腸より注入する場合に體温位又はそれより少し温くして一回に三、四百瓦位迄とし、必要によつては二、三時間置に反復してもよい。一體此生理的食鹽水を血管内に注入する事は、蛙の實驗から思ひついたのである。蛙の血管の一部を切つて生理的食鹽水を注入して、全身の血液を悉く洗ひ出して、心臓及び血管内を悉く食鹽水だけで充す様にして見ても、蛙は平氣で飛ぶ事が出来るが、之に反し只血液を出した丈で

は忽ちに死んで仕舞ふと云ふ實驗に基いて、之を人體の出血に對して應用して見たのである。然るに今日では出血以外の時にも總ての虚脱等の場合に廣く應用せられる様になつたのである。

醫師は濃い食鹽水を血管内へ注入して止血を計ることがある。産婆は大出血に會つた時、其血液を消毒液等と混ざらない様に清潔に集めて、三、四枚重ねたガーゼで濾して、生理的食鹽水と等分に混ぜたものを湯煎にして微温に温めて、直腸内へ注入すると、生理的食鹽水以上の効果がある。

(三) 興奮劑の供給

興奮劑によつて心臓の力を強めて心臓麻痺を豫防するのである。赤葡萄酒は血の様な色をして居る點から素人は飲んですぐ血になる様に考へて居るがさうではない。日本酒の有合せがある場合には深夜態々葡萄酒を買ひに出るにも及ばない。上等の茶又は珈琲の中には心臓を強める成分が這入つて居るのである。

(四) 身體の温保

湯婆の數の足りない時には「ピル」繻又は貧乏徳利を以て代用してもよいが、くれぐれも栓に注意し、且つ「ひび」の無くと云ふ事を確かめねばならぬ。

【被褥】掛ける夜具。

第五章 産婦の其他の異常

第一節 分娩時の衄血

衄血とは鼻血の事である。

第二節 分娩中の咯血、吐血及下血

咯血は呼吸器から、吐血は胃から口へ、下血は肛門から下へ出るものである。

▲咯血と吐血の區別

	咯	血	吐	血
(1) 原因	肺結核。	咳嗽。	胃潰瘍、胃癌。	嘔吐。
(2) 色と反應	鮮紅色。	必ず「アルカリ」性。	暗赤色。	通常酸性。
(3) 形状と泡沫	液状。	泡沫有り。	凝固。	泡沫無し。
(4) 食物残渣	無し。		有り。	

第四節 産婦の死亡

原因は呼吸困難と同じと記憶してよい。子癇の詳細は異常妊娠中に述べて置たから異常分娩では略す。

第三節 産婦の呼吸困難

原因には肺臓、心臓、腎臓等の重い病氣の外に、急性貧血、子癇、脚氣等もある。

處置として上體を高くするには座布団か何かを静かにかへばよろしい。ブリーズニツツ氏法は、西洋手拭か何かに微温湯を浸して軽く絞つたのを胸に貼て、其上から「ゴム」布又は油紙を被ふておくのである。詳細は第七巻で述べやう。

(5) 出血後の糞便	血液を混ぜず。	血液を混ざるため黒色。
注 意	衄血と誤る事あり。咯血を嘔下して後嘔吐すれば吐血と誤る事あり。	多量なら液状、アルカリ性。吐血が氣道に入つて後咳嗽と共に出れば咯血と誤る事あり。

時としては産婦が死んでから後、時を経て死胎兒を娩出する事がある、之は多くは死後に發生した腐敗瓦斯の爲めに壓出されたものである。

書 取

「げんらん」「がんくわせんぱつ」「きょうないくもん」「けつれい」「てんでん」「くけつたつ」「てんけん」「ぢくけつ」

類 字

耳鳴、嗚呼。虚血、處置。驅血、軀幹。咯血、(咯血は誤)閃發、苦悶。

試験問題

- ◎急性貧血ノ原因及徴候 (茨城、大正十二、四) ◎大出血及急性貧血ノ處置 (埼玉、大正二、四)
- ◎分娩時出血ニヨル母體危險ノ徴候 (愛知、大正十四、四) ◎急性貧血ノ處置 (岐阜、大正十二、四)
- ◎産婦急性貧血ノ原因及處置 (埼玉、大正四、四) ◎同上 (大阪、昭和二、四)
- ◎同上 (奈良、大正十一、四) ◎胎填塞法ヲ行フベキ場合及其方法 (神奈川、大正七、十)
- ◎同上 (埼玉、大正十五、四) ◎左記ノ場合ニ於テ産婆トシテ取扱上ノ方針ヲ簡略ニ記セ (胎兒分娩直後出血多量ニシテ時々刻々脈搏微弱トナルル時醫師ノ來診マデニ二時間ヲ要ス (大阪、大正十四、四)
- ◎産婦ノ急性貧血ノ原因症狀及其處置 (石川、大正十四、四)
- ◎出血時ノ状態及産婆ノ處置 (東京、大正七、十)
- 【解】 状態ニハ外出血内 血ノ状態、並ニ急性貧血ノ症候ヲモ記サナケレバナラヌ

- ◎如何ナル場合ニ分娩ノ異常ヲ來スカ (三重、大正五、四) ◎分娩時ニ於ケル母體ノ變狀 (埼玉、大正五、十)
- ◎同上 (岐阜、大正十一、四) ◎産婦ノ呼吸困難ノ原因及處置 (埼玉、大正七、十)
- ◎異常分娩ヲ來シ易キ各種ノ原因 (静岡、大正七、四) ◎産婦死亡ニ就テ記セ (栃木、大正十一、四)
- ◎分娩經過中胎兒及産婦ニ危險ヲ來ス場合如何 (埼玉、大正十四、十) ◎分娩中母體急激死亡ノ原因 (岐阜、昭和二、五)
- ◎母兒兩體ニ依リテ起ル分娩異常ノ生ズル原因ヲ記セ (岐阜、大正十五、四) ◎分娩第二期ニ起リ得ベキ異常ヲ列記セヨ (徳島、大正十五、四)
- ◎異常分娩を來すべき母體の原因 (埼玉、大正二、四) ◎避妊法ハ如何ナル場合ニ必要アリヤ (埼玉、大正十一、四)
- ◎同上 (埼玉、大正四、十) ◎分娩中母體又ハ胎兒ガ遭遇スル危險ノ主ナルモノヲ舉ゲヨ (大阪、昭和二、十)

答。分娩時母體の異常は、『通過障礙を來すべき母體異常』即ち娩出力異常及産道の異常と、『通過障礙以外の母體異常』即ち分娩中の出血、急性貧血、子痛、其他の異常に大別して、其各を更に分類すればよい。例へば、娩出力異常は陣痛異常と腹壓異常とに分け、産道異常は骨盤異常と軟部産道異常とに分け、分娩中の出血は前置胎盤、常位胎盤早期剝離、軟部産道損傷(子宮破裂、會陰破裂等)、弛緩性出血、子宮翻轉等に分ればよい。往々此様な概括的問題が出るから、教科書の目次に就て研究して置く必要がある。

這ひかゝる兒に横をむく喫みかけ茶
負ふた子の覺えがよくて憎がられ

試験問題 (追加其一)

【胎兒附屬物ノ異常】

卵膜ノ異常ニ就テ知ル處ヲ記セ (香川、昭和三春)
 異常破水ニ就テ知ル所ヲ記セ (石川、昭和三秋)
 早期破水ニ就テ知ル所ヲ記セ (千葉、昭和四春)
 早期破水ノ主ナル原因ヲ記セ (愛媛、昭和三春)
 早期破水ノ原因 (京都、昭和三秋)
 早期破水(卵胞ノ早期破裂)ノ原因ヲ問フ (山口、昭和四春)
 早期破水ノ原因及其理由ヲ記セ (香川、昭和四春)
 分娩時兒頭ノ骨盤内固定ヲ障害スルスベテノ場合ヲ列記セヨ (京都、昭和二秋)
 分娩時胎兒ノ先進部固定セザル場合アラバ其理由ヲ問フ (關東、昭和三春)
 早期破水ノ原因並ニ其分娩ニ及ボス影響ヲ記セ (廣島、昭和二秋)
 早期破水ノ主ナル原因ト其ノ分娩ニ及ボス影響トニ就テ述ベヨ (山梨、昭和三春)
 早期破水ノ原因及其分娩ニ及ボス影響 (埼玉、昭和三秋)
 早期破水ノ起ル原因ヲ擧ゲテ之ヲ説明シ其ノ分娩及産褥ニ及ボス影響ヲ記セ (山口、昭和二秋)
 早期破水ノ原因及症狀ヲ述ベヨ (沖繩、昭和四春)

早期破水ノ原因症狀及處置 (島根、昭和二秋)

早期破水ノ原因及其處置ヲ記セ (栃木、昭和三秋)

早期破水ノ障害 (滋賀、昭和二秋)

早期破水ノ分娩ニ及ボス障害ニ就テ記セ (大阪、昭和三春)

早期破水ノ分娩ニ及ボス影響如何 (群馬、昭和三春)

早期破水ノ分娩ニ及ボス影響 (鹿兒島、昭和三春)

早期破水ノ分娩障害 (東京、昭和三秋)

早期破水ノ分娩ニ及ボス影響 (徳島、昭和三秋)

早期破水ノ分娩ニ及ボス影響ヲ述ベヨ (兵庫、昭和四春)

早期破水ノ分娩及産褥ニ及ボス影響如何 (山梨、昭和四春)

早期破水ノ分娩ニ及ボス影響ト其處置ヲ記セ (岐阜、昭和三春)

早期破水ニヨリテ起ル障礙並ニ處置ヲ問フ (和歌山、昭和四春)

早期破水ノ分娩ニ及ボス影響及其ノ處置方法ヲ記セ (長崎、昭和四春)

延滞破水ノ場合ニ起ル障礙ヲ列擧セヨ (和歌山、昭和三春)

幸帽兒ヲ説明セヨ (長野、昭和二秋)

幸帽兒 (福岡、昭和三秋)

卵膜ノ病變ハ胎兒ニ如何ナル影響ヲ及ボスヤ (兵庫、昭和三春)

人工破水法ノ適應及ビ術式ヲ記セ (和歌山、昭和二秋)

人工破水ヲ行フベキ場合ヲ問フ (滋賀、昭和三春)

人工破水法ノ適應及術式ヲ記セ (和歌山、昭和三秋)

幸帽兒ヲ説明セヨ (長野、昭和二秋)

胎胞破開術ヲ施スベキ時期ヲ説明セヨ (埼玉、昭和四春)
 如何ナル場合ニ卵膜穿刺法(人工破水)ヲ行フベキカ (大阪、昭和四春)



胎胞ノ異常ヲ列記セヨ (宮城、昭和三秋)
 胎胞ノ異常ノ種類 (愛知、昭和三秋)
 胎胞ノ異常ニヨル妊娠分娩ノ障害ヲ問フ (大阪、昭和四春)
 胎胞ノ異常ノ原因、障害並ニ其處置ヲ記セ (千葉、昭和四春)
 胎胞ノ異常ハ分娩ニ對シ如何ナル影響ヲ及ボスヤ (茨城、昭和四春)
 分娩時胎胞ノ異常セルトキハ如何ナル危険ヲ伴フカ及其ノ處置 (栃木、昭和四春)
 分娩經過中ニ於ケル胎胞ノ異常並ニ其處置ニ就テ (島根、昭和四春)
 胎胞ノ異常ノ原因及障害 (千葉、昭和三春)
 胎胞ノ異常ノ下垂乃至脱出ノ原因障害並ニ其處置ヲ記セ (北海道、昭和三春)
 胎胞ノ異常ノ原因及ビ其ノ處置ヲ記セ (青森、昭和二秋)
 胎胞又ハ卵膜殘留ノ徵候及之ガ爲ニ蒙ル影響ヲ記セ (石川、昭和三秋)
 胎胞殘留ノ處置ヲ記セ (青森、昭和三春)
 胎胞殘留ノ原因及處置 (茨城、昭和二秋)

【胎兒ノ異常】

胎兒畸形ノ名稱ヲ擧ゲヨ (鹿兒島、昭和四春)



後頭位ニ於ケル破格の分娩機轉ノ場合 (鹿兒島、昭和四春)
 第一前頭位ノ診斷及分娩機轉如何 (岩手、昭和三春)
 第一前頭位ノ外診所見及骨盤測ニ於ケル内診所見ヲ問フ (岡山、昭和三春)
 第二前頭位ニ就キ左ノ事ヲ記セ
 イ、心音ノ聴取部位 ロ、先進部 ハ、産瘤ノ生ズル部位
 ニ、頭蓋ノ重疊 ホ、頭部ノ變形 (石川、昭和四春)
 前頭位兒頭ノ骨盤腔内ニ於ケル高サノ診斷ニ就テ記セ (富山、昭和二秋)
 第三頭蓋位トハ如何ナル胎位ナルヤ及其分娩機轉ヲ問フ (岩手、昭和四春)
 分娩時各胎位ノ先進部ハ骨盤廣部ニ於テ如何ナル位置ヲトルカ (大阪、昭和三秋)
 外診上ニ於ケル胎位ノ所見ヲ述ベヨ (茨城、昭和三秋)
 左記胎位部分ノ内診上ノ特徴ヲ記セ
 イ、矢狀縫合 ロ、口 ハ、上肢ト下肢 (長野、昭和三秋)
 各胎位分娩ニ於テ最初恥骨弓下ニ露ハルベキ胎兒部分ヲ問フ (岡山、昭和二秋)

總テノ頭位ニ於ケル娩出兒頭ノ應形ヲ列記セヨ (富山、昭和四春)

反屈位ノ分娩困難ナル理由 (滋賀、昭和三春)

頭位ノ分娩中最モ容易ナルモノヨリ順次的ニ記セ (岐阜、昭和四春)

頭蓋位分娩時ニ於ケル產瘤發生ノ部位ヲ記シ併セテ發生ノ理由ヲ記セ (兵庫、昭和三春)

各胎位ニ於ケル產瘤發生ノ部位並ニ產瘤ト頭蓋血腫トノ關係 (熊本、昭和二秋)

骨盤端位ノ外診所見並ニ分娩ノ難易ヲ説明セヨ (奈良、昭和三春)

骨盤端位ノ症狀及診斷ヲ記セ (高知、昭和四春)

第一臀位ノ分娩機轉ヲ問フ (徳島、昭和四春)

頭位ト臀位トノ分娩機轉ヲ比較セヨ (埼玉、昭和三春)

分娩時左ノ胎位ニ於テ初メテ恥骨弓下ニ現ハムル部分ヲ問フ

第一後頭位 第二顔面位 第一完全臀位 第二完全足位 (福井、昭和三秋)

骨盤端位分娩ガ頭位分娩ニ比較シテ種々ナル障害ヲ起シ易キ理由ヲ問フ (山口、昭和三春)

骨盤端位分娩ノ難易及小兒ノ危險ニ陥リ易キ理由如何 (岩手、昭和三秋)

骨盤端位分娩ガ頭位分娩ニ比シ一般ニ危險多キ理由ヲ記セ (長崎、昭和四春)

骨盤端位分娩ノ取扱上注意スベキ主要點 (徳島、昭和三春)

骨盤端位分娩ノ處置 (東京、昭和三春)

骨盤端位分娩ノ取扱ニ就テ記セ (宮崎、昭和四春)

各種ノ骨盤端位分娩中胎兒ノ豫後最モ惡キハ何カ (滋賀、昭和三春)

横位ノ第一胎向ヲ簡單ニ説明セヨ (石川、昭和四春)

横位ノ分娩經過 (高知、昭和三春)

遷延性横位ノ經過ヲ記セ (宇和島、昭和四春)

横位ノ恐レラル、ハ何故ゾヤ (滋賀、昭和三春)

横位ニテ自然分娩ヲ爲シ得ルモノ、經過ヲ問フ (大阪、昭和三春)

自己送産ヲ説明セヨ (山梨、昭和二秋)

外廻轉術 (秋田、昭和三秋)

雙胎分娩後ニ於テ一卵性雙胎ト二卵性雙胎ヲ鑑別シ得ル諸點 (愛媛、昭和三春)

雙胎ノ卵膜及胎盤ニ就テ記セ (宮崎、昭和三秋)

雙胎ノ性ハ如何 (滋賀、昭和三春)

雙胎ノ妊娠經過ヲ記セ (富山、昭和四春)

雙胎妊娠ノ分娩經過ヲ記セ (愛媛、昭和三秋)

狹窄骨盤ニヨリテ起ル分娩中ノ障害及其ノ處置 (愛媛、昭和三秋)

雙胎妊娠ノ診斷 (埼玉、昭和三秋)

雙胎妊娠ノ診斷 (大阪、昭和三秋)

雙胎(二子)妊娠ノ確徵ヲ述ベヨ (茨城、昭和三秋)

雙胎妊娠ノ徵候ヲ述ベヨ (福島、昭和四春)

雙胎妊娠ノ診斷ニ就テ (鹿兒島、昭和四春)

雙胎妊娠ノ診斷及鑑別ニ就テ記セ (京都、昭和三秋)

雙胎妊娠ノ鑑別 (静岡、昭和三秋)

雙胎妊娠ト羊水過多症トノ鑑別 (高知、昭和二秋)

羊水過多症ト雙胎妊娠トノ鑑別 (愛媛、昭和三春)

雙胎ノ分娩時ニ於ケル處置 (大分、昭和三春)

雙胎分娩ノ際ニ於ケル產婆ノ注意スベキ事項ヲ記セ (沖繩、昭和三春)

分娩時胎兒窒息ノ原因 (和歌山、昭和三春)

早期呼吸(胎兒ノ子宮内呼吸)ノ原因ヲ問フ (山口、昭和四春)

胎兒窒息ノ原因及徵候ヲ問フ (山口、昭和三春)

胎兒窒息ノ徵候ヲ記シ其ノ原因ヲ述ベヨ (福井、昭和三春)

胎兒子宮内窒息ノ原因及徵候ヲ記セ (鳥取、昭和三秋)

分娩中胎兒假死ヲ來ス場合及其ノ徵候 (熊本、昭和四春)

分娩中胎兒危險ノ徵候 (東京、昭和二秋)

分娩中胎兒危險ノ徵候 (香川、昭和三春)

分娩中胎兒危險ノ徵候及處置 (三重、昭和三秋)

分娩中起ル胎兒ノ危險徵候ヲ列舉 (徳島、昭和四春)

分娩時ニ於ケル胎兒死亡ノ徵候ヲ記セ (宮崎、昭和二秋)

分娩經過中胎兒死亡ノ原因及徵候ヲ簡單ニ記述セヨ (長野、昭和四春)

高度ノ初生兒假死トハ如何ナルモノカ (山梨、昭和二秋)

初生兒假死ノ原因ヲ問フ (富山、昭和二秋)

初生兒假死ノ原因ヲ列記セヨ (富山、昭和三秋)

初生兒假死ノ原因及症狀ニ就テ記セ (高知、昭和二秋)

初生兒假死ノ原因及眞死トノ區別 (愛媛、昭和三春)

初生兒假死ノ原因及徵候ヲ述ベヨ (沖繩、昭和二秋)

初生兒假死ノ原因及徵候ヲ記セ (奈良、昭和二秋)

初生兒假死ノ原因及徵候ヲ記セ (大阪、昭和三春)

初生兒假死ノ原因及其處置 (新潟、昭和二秋)

初生兒假死ノ原因及其處置 (青森、昭和二秋)

初生兒假死ノ原因及處置ヲ問フ (岩手、昭和三春)

初生兒假死ノ原因及處置 (徳島、昭和四春)

分娩中ニ於ケル胎兒假死ノ徵候ヲ記セ (石川、昭和二秋)

胎兒高度ノ假死ニテ生レ續テ母體ニ高度ノ出血起レル場合産婆ノ取ルベキ處置如何 (大阪、昭和二秋)
第一度假死ノ處置ヲ問フ (香川、昭和三秋)
初生兒第一度ノ假死(輕度ノ假死)ニ對スル處置ヲ問フ (香川、昭和四春)

分娩後ノ初生兒假死ニ遭遇セル時ハ如何ナル順序ヲ以テ之ヲ手當スルヤ (茨城、昭和四春)
初生兒假死ノ處置 (宮城、昭和四春)
初生兒假死ノ手當ヲ記セ (廣島、昭和三秋)
初生兒假死ノ處置 (東京、昭和三秋)
初生兒假死ノ蘇生法 (沖繩、昭和三秋)
初生兒假死ノ處置 (大分、昭和四春)

【母體ノ異常】

異常陣痛ニ基因スル分娩障害ヲ記セ (新潟、昭和四春)
正規陣痛及異常陣痛ノ種類ヲ記セ (廣島、昭和三秋)
陣痛微弱ノ種類及其ノ處置 (德島、昭和三秋)
微弱陣痛(又ハ陣痛微弱)トハ何カ (神奈川、昭和三秋)
陣痛微弱ノ原因症狀及處置ヲ問フ (熊本、昭和四春)
陣痛微弱ノ原因及處置ヲ記セ (奈良、昭和二秋)
異常陣痛ノ原因及處置 (柏崎、昭和二秋)
陣痛微弱ノ原因及處置 (三重、昭和四春)
陣痛微弱ノ原因處置ヲ記セ (鳥取、昭和三春)

過廣骨盤ノ種類診斷處置如何 (佐賀、昭和三秋)
遂落分娩トハ何ゾヤ (神奈川、昭和三春)
狹窄骨盤トハ如何ナルモノヲ謂フヤ及其ノ分娩ニ及ボス影響ヲ記セ (静岡、昭和三春)

扁平骨盤トハ何ゾヤ及其分娩ニ及ボス影響(神奈川、昭和四春)
狹窄骨盤ノ分娩障害ニ就テ記セ (宮崎、昭和三秋)
狹窄骨盤ニ於ケル分娩經過ヲ記セ (熊本、昭和二秋)
狹窄骨盤ノ疑ヲ起スベキ症狀 (茨城、昭和三春)
狹窄骨盤ノ分娩經過及診斷方法ニ就テ記セ (長崎、昭和三秋)
骨盤計ヲ用ヒズシテ如何ニシテ狹窄骨盤ナル事ヲ推知スルカ、又狹窄骨盤ガ分娩ニ及ボス影響ヲ問フ (山口、昭和三春)
狹窄骨盤ノ疑ヲ起スベキ症狀 (高知、昭和二秋)
狹窄骨盤ノ檢定法 (三重、昭和三秋)
胎兒ガ産道ヲ容易ニ通過スル爲メニハ如何ナル條件ガ必要ナリヤ (大阪、昭和三秋)
成熟胎兒ノ自然分娩ヲ遂ゲ得ザル場合ヲ記セ(石川、昭和三春)
狹窄骨盤ノ分娩時ニ於ケル處置 (大分、昭和三春)
妊婦ニ左側臥ヲ取ラシムベキ場合ヲ記セ (廣島、昭和二秋)

軟部産道ノ異常ノ名稱ヲ擧ゲヨ (鹿兒島、昭和三春)
褥婦膀胱ノ盈充ハ如何ナル障害ヲ起スカ及其ノ處置(栃木、昭和三秋)

微弱陣痛ノ原因及ビ處置ノ大要ヲ記セ (北海道、昭和三秋)
陣痛微弱ノ分娩各期ニ於ケル障害ヲ問フ (青森、昭和四春)
分娩時産道ノ壓迫症狀ヲ擧ゲヨ (滋賀、昭和三春)
分娩第一期 開口期)ニ於ケル陣痛微弱ノ處置(兵庫、昭和三春)
開口期陣痛微弱ノ處置ニ就テ記セ (長崎、昭和三春)
分娩各期ニ於ケル陣痛微弱ノ處置ヲ問フ (福井、昭和三秋)
微弱陣痛ノ際産婆ノ採ルベキ處置 (鹿兒島、昭和二秋)
陣痛微弱ノ處置 (滋賀、昭和二秋)
産婆ノナシ得ル陣痛ヲ強法及ビ輕減法ヲ記セ(松山、昭和三春)
産道ニ異常ナクシテ胎兒分娩セザル場合ヲ列擧セヨ(大阪、昭和三秋)

過激陣痛トハ如何 (茨城、昭和三春)
過強陣痛ニ就テ記セ (東京、昭和四春)
痙攣性陣痛ニ就テ (長野、昭和三秋)
過激陣痛トハ如何其ノ原因及處置ヲ記セ (青森、昭和三春)
烈シキ後陣痛ノ原因並ニ其處置ヲ擧ゲヨ (大阪、昭和四春)
陣痛過劇ニヨツテ起ル障碍 (三重、昭和四春)
陣痛過劇ニヨツテ起ル障害及ビ處置 (三重、昭和三秋)
痙攣性陣痛ノ障害ト處置ヲ記セ (臺灣、昭和三秋)
痙攣性陣痛ニ對スル處置 (宮城、昭和三春)

◆◆◆
過大骨盤分娩ノ經過ヲ問フ (愛媛、昭和二秋)

膀胱及直腸充滿ノ分娩ニ及ボス影響如何(青森、昭和四春)
子宮隣接器官ノ異狀ニ因スル分娩遅延ノ診斷並ニ處置(滋賀、昭和四春)
胎兒ノ通過ヲ妨グル産道ノ異常ヲ列擧セヨ(鹿兒島、昭和三秋)

◆◆◆

妊娠中及分娩時ニ出血ヲ來タス場合ヲ列擧セヨ(鹿兒島、昭和四春)
妊娠時並ニ分娩時子宮出血ノ原因 (愛知、昭和二秋)
妊娠分娩時ニ於テ出血ヲ來ス場合ヲ擧ゲ其場合ニ於ケル産婆トシテノ一般處置ヲ略記セヨ (岐阜、昭和三春)
分娩時ノ子宮出血ニツイテ記セ (北海道、昭和二秋)
分娩時ニ於ケル生殖器出血ノ原因ヲ列擧セヨ(福島、昭和二秋)
分娩時ニ於ケル異常出血ノ原因ヲ問フ (岩手、昭和二秋)
分娩時ニ起ル異常出血ノ主ナル原因ヲ記セ (長崎、昭和三秋)
分娩時ニ於ケル出血ノ原因ヲ列擧セヨ (京都、昭和三春)
分娩第一期及第二期ニ於ケル異常出血ノ原因ヲ問フ(香川、昭和三秋)
子宮頸管破裂ニ就テ記セ (山梨、昭和二秋)
分娩時子宮破裂ノ主ナル原因ヲ問フ (茨城、昭和二秋)
子宮破裂ノ原因及症狀ヲ述ベヨ (神奈川、昭和二秋)
子宮破裂ノ原因及徵候ヲ記セ (青森、昭和二秋)
子宮破裂ノ原因症狀及産婆トシテノ處置ヲ記セ(山口、昭和三秋)

秋)

子宮破裂ノ原因及處置 (京都、昭和四春)
 子宮破裂ノ前徵ヲ問フ (愛媛、昭和二秋)
 子宮破裂ノ前驅徵候ヲ問フ (岡山、昭和三春)
 子宮破裂ノ前驅症狀並ニ其ノ處置如何 (佐賀、昭和三秋)
 子宮破裂ノ切迫徵候並ニ其處置ヲ問フ (福井、昭和二春)
 子宮破裂、前驅徵候並ニ破裂徵候ヲ述ベヨ (兵庫、昭和三秋)
 子宮破裂ノ症狀及處置 (秋田、昭和四春)

會陰破裂ノ原因 (鹿兒島、昭和四春)
 會陰破裂ノ程度及其ノ發生ヲ助成スル場合 (岐阜、昭和四春)
 會陰破裂ノ原因及症狀 (島根、昭和二秋)
 會陰破裂ノ種類及其影響ヲ記セ (廣島、昭和三春)

後産期子宮出血ニ就テ説明シ處置ヲ記セ (山形、昭和三春)
 弛緩性出血トハ如何 (福島、昭和三秋)

胎盤娩出遅延ノ理由ヲ問フ (大阪、昭和二秋)
 分娩第三期ニ於ケル弛緩性出血ノ原因及其ノ診斷 (島根、昭和三秋)

弛緩性出血ノ原因診斷及處置 (秋田、昭和二秋)
 分娩第三期ニ於ケル弛緩性子宮出血ノ原因診斷並ニ處置如何 (佐賀、昭和三春)
 弛緩性出血ノ原因處置 (大分、昭和三春)

弛緩性出血ノ原因徵候及處置ヲ問フ (山口、昭和四春)
 後産期出血ノ原因及處置 (徳島、昭和四春)
 後産期及分娩直後ノ出血ノ原因及其ノ處置ヲ問フ (岡山、昭和四春)

無力性(弛緩性)出血ノ原因並ニ處置 (高知、昭和三春)
 弛緩性出血ノ症候及其應急處置 (徳島、昭和三秋)
 後産期出血ノ鑑別 (大阪、昭和三秋)

弛緩性出血ト子宮頸管破裂ニヨル出血ノ鑑別ヲ記シ其ノ救急處置ニツキテ注意スベキ差異點ヲ舉ゲヨ (兵庫、昭和三春)
 弛緩性出血ト裂傷出血トノ鑑別ヲ記セ (廣島、昭和三春)
 分娩直後他ニ何等認ムベキ原因ナクシテ急ニ大出血ヲ起セリ、子宮ハ收縮不完全ニシテ著シク柔軟ナリ、診斷並ニ産婆ノ執ルベキ救急處置ヲ問フ (山口、昭和三春)

弛緩性後出血ノ處置 (愛媛、昭和三秋)
 子宮内翻症ノ原因及症狀ヲ記セ (佐賀、昭和二秋)

急性貧血ノ原因症狀及其處置ヲ記セ (北海道、昭和三春)
 急性貧血ノ原因症狀及處置ヲ記セ (北海道、昭和四春)
 急性貧血トハ如何ナル症狀ヲ呈スル場合ヲ云フカ (神奈川、昭和三秋)

分娩中母體又ハ胎兒ガ遭遇スル危險ノ主ナルモノヲ舉ゲヨ (大阪、昭和二秋)

324
108

大正八年一月一日初版印刷
 大正八年四月五日再版發行
 大正八年八月五日再版發行
 大正九年十一月廿三日再版發行
 大正十年四月一日再版發行
 大正十年十月廿五日再版發行
 大正十一年五月廿五日再版發行
 昭和二年十二月八日七版發行
 昭和二年十二月十二日七版發行
 昭和三年四月八日八版發行
 昭和四年七月廿日九版發行

著者 佐久間兼信
 發行所 東京市神田區猿樂町三丁目一三八番地
 印刷所 東京市神田區猿樂町二丁目九番地

獨習書第六卷

正價金八拾錢

送料金六錢

佐久間兼信
 東京市神田區猿樂町三丁目一三八番地
 東京助産女學校
 電話九段(三)七七・振替東京三九九二一
 東京市神田區猿樂町二丁目九番地
 林觀一郎
 東京市神田區猿樂町二丁目九番地
 東京助産女學校 特定印刷所

東京市本郷區龍岡町三十二番地
 南山堂書肆
 電話小石川(五)四七五七・振替東京六三三八

特約賣捌

肆 書 捌 賣

本郷區春木町三丁目	南江堂書店	岡山市中之町	文江堂書店
同 春木町二丁目	半田屋書店	名古屋中區榮町	丸善支店
同 龍岡町	吐鳳堂書店	同 同老松町	大竹書店
同 同	富倉書店	金澤市片町	宇都宮書店
同 同	文榮堂書店	同 廣坂通	いろや書店
同 同	文光堂書店	同 同	内田書店
同 湯島切通町	金原書店	京都市鉄屋町	丸善支店
同 同	宮澤書店	同 寺町通御池南	南江堂京都支店
神田區表神保町	東京堂書店	同 丸太町通	國井書店
日本橋通り三丁目	丸善書店	熊本市上通町四丁目	長崎書店
小石川春日町	三行堂書店	同 安巳町橋	芹川書店
京橋區元數寄屋町	北隆館書店	仙臺市國分町	丸善支店
京橋區銀座三丁目	東海堂書店	新潟市古町通	考古堂書店
大坂市東區博勞町	丸善支店	千葉市市場	松田屋書店
大坂市四區江戸堀	松本書店	同 同	寶文堂書店
同 南區心齋橋二丁目	荒木書店	福岡市博多上西町	丸善支店
同 同	渡邊泰山堂	札幌市南一條西三丁目	富貴堂書店
同 同		同 同	丸善出張所
同 同		同 同	維新堂書店

終